



# ふじみだい

## スポーツとの多様な関わり

副校長 足立 渉

先日の台風19号の猛威により、本校でも百葉箱の屋根が壊れたり、敷地内の植樹が斜めに傾いたりと被害がありました。先月の台風15号の教訓を生かし、十分準備をしていたにもかかわらずこのような状況になったこと、あらためて自然災害の怖さを実感しました。今後、さらに安全安心の学校となるよう努めて参ります。また、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げるとともに、一日でも早い復旧を迎えられるようお祈り申し上げます。

さて、10月はケニアのキプチョゲ選手がフルマラソンで1時間59分40秒2という、人類で初めて2時間を切るという驚異的な記録を出したり、ワールドカップバレーで全日本男子が28年ぶりに4位入賞したりするなど、スポーツ界はとても活気にあふれていました。その中でも、ラグビーワールドカップ日本代表選手の頑張り、躍進から、勇気をもらうとともに、胸を熱くした人も多いのではないのでしょうか。私も日本代表の試合をテレビで観戦し、その勇姿に感動し、夢中になって応援しました。また、ニュースや新聞、ネットなどで情報を得ることで、さらにラグビーの奥深さに魅了されました。惜しくも準々決勝で南アフリカに敗れましたのですが、日本代表の勇ましく挑んだ全試合を通して、ラグビーという種目の魅力を感じられたことを、とてもうれしく思いました。



スポーツには多様な関わり方があります。学習指導要領には、「する みる 支える 知る」の4つが書かれています。「運動をすることに親しむこと」はもちろんですが、それだけでなく、「見ること」「支える（応援する、支援する）こと」「知ることも大切な関わり方として挙げられています。今回のラグビーワールドカップ日本大会は、まさに「見る 支える 知る」という3つの関わり方を楽しむことができました。

学校では、日常の体育授業もそうですが、ラグビーワールドカップ日本大会や来年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会などを通して、子どもたちが今まで以上にスポーツへの関心を高められる機会としていきます。「スポーツの秋」です。ご家庭でも、お子様と「する みる 支える 知る」の様々なスポーツとの関わりを楽しんでください。

11月16日（土）には、二十九回目を迎える「ふれあいフェスティバル」が本校で行われます。午前中は、「ミュージックフェスタ」として各学年による合奏や合唱を発表します。会場では、席もおもてなしも十分なことはできませんが、よろしければ、地域の方々もご参観し、子どもたちの「芸術の秋」に触れてください。